

★えほん★

あたらしい本のコーナー

「いっぼんのせんとマヌエル」

マリア・ホセ・フェラーダ/文 パトリシオ・メナ/絵
星野由美/訳 偕成社 E4メナ

マヌエルはせんが大好き。いっぼんのせんをたどってまちへいく。せんにそってかわをわたる。せんで自分のなまえをかく。この本には絵と文字といっしょに、ピクトグラム(ことばをあらわす絵文字)もついているよ。



「じごくにいったかんねどん」

常光徹/文 かつらこ/絵 童心社 E1シヨ

ほらふきでとんちもののかんねどんが、ぼっくりしんだ。大ぼらをふいてさんざん人をだましたつみでエンマ大王にじごくいきをめいじられるが、いきたくないかんねどんは、エンマ大王もだまそうとする。



「そろりそろりとやさいがね」

ひろかわさえこ/作 偕成社 E3ヒロ

ひとがみんなねしすまったよ。だあれもないだいでとこで、ぎぎーとれいそうこのドアがひらいた。なかからでてきたのは、しなしなになるまでほっておかれたやさいたち。にんげんをこらしめようとかがえたやさいたちに、みみずおしようがこえをかけたよ。



「のう犬ボン」

たじまゆきひこ/作 くもん出版 E3タシ

ひろってきた子犬のボンを飼うことになったとしお。でもある日、とうさんの仕事のつごうで引っ越すことになった。とうさんはぼくにうそをついてボンを島に捨ててしまった。その後、とうりのこされたボンに何がおこるのか。

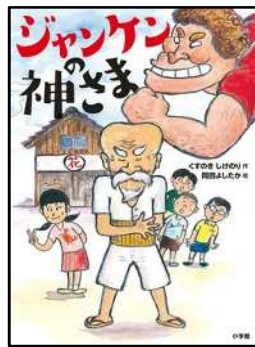


★よみもの★

「ジャンケンの神さま」

くすのきしげのり/作 岡田よしたか/絵 小学館 931クス

ユウイチ、ショウタ、ミツルの3人は駄菓子屋「まる花」のおじいさんに弟子入りすることにした。このおじいさん、じつは、ジャンケンでは負けたことがないという伝説の持ち主なのだ。



「タイガー・ボーイ」

ミタリ・パーキンス/作 ジェイミー・ホーガン/絵
永瀬比奈/訳 鈴木出版 932ハア

学校で一番賢いニールは、奨学金を勝ち取ってインドの大会にある中学校に進むことを期待されている。でも本当は生まれ育った島から離れたくない。そんなとき、トラの子が保護区から逃げ出したという話を聞く。母トラが子を追ってやってきたら大変なことになる!



「ヘッチャラくんがやってきた!」

さえぐさひろこ/作 わたなべみちお/絵
新日本出版社 931サエ

あるひ、ぼくたちのクラスにてんこうせい がやってきた。そのこはきいろくて、まるくて、ぴかぴかだった。ピヨヨン キューーン「ハジメマシテ。ボクハヘッチャラクンデス」なんと、そのこのせきはぼくのと看りになったんだ。



「ん ひらがな大へんしん!」

まつもとさとみ/作 すがわらけいこ/絵
汐文社 931マツ

「ん」という字って、書くのむずかしいよね。みんなは上手に書けるかな? なっちゃんにはだいまれんしゅう中。そんなときぴよんぴよんはねる「ん」があらわれ、さみしいからと看りに「ん」を書いてとたのまれたけれど…。なっちゃんどうする!?



★しらべもののほん★

「いきものかくれんぼ」

海野和男・中村庸夫ほか/写真 嶋田泰子/文
童心社 48

いきものたちは、他のいきものに食べられたりしないために、にげたりかくれたりする。虫のてきはとつても目のいい鳥。かれはみたいになったり、石ころそっくりになったり。かくれんぼの天才たちをさがしてみよう。



「おいしくたべる」

松本伸子/監修 加藤休ミ・得地直美/画
朝日新聞出版 59

すいかに塩をかけるとかえって甘くなる。大人はにがいコーヒーやビールをおいしいという。同じものを食べても、おいしく感じたりそれほどでもなかったり。おいしいって不思議だ。食べることが好きな人も、めんどうくさい人も「おいしい」の秘密をさがろう。



「子どものためのニッポン手仕事図鑑」

大牧圭吾/監修 オークラ出版 75

日本にはすばらしい手仕事がたくさんある。何百年もつづいてきた職人たちの技をわかりやすく解説する。「モノづくり」のきびしさ、よろこび。職人の思いが伝わってくる。



「マングローブ生態系探検図鑑」

馬場繁幸/監修 長島敏春/取材・撮影 偕成社 65

マングローブって何だか知ってる? 亜熱帯地方の川と海の境目の水中に生えている木のことだよ。この木の根っこはおかしな形をしていたり、たくさんの秘密が隠されているんだ。写真も大きくて、まるでマングローブを探検している気分になるよ。

